

4月1日から

公益財団法人小松市施設管理公社は

公益財団法人**小松市まちづくり市民財団**に名称を変更します

小松市施設管理公社は1978年に小松市社会体育振興会として設立され、今年で40周年を迎えます。これまで、体育施設や文化施設、児童センターなどの公共施設の管理と各種教室・イベントの開催を通じて、スポーツ・文化の振興や市民の健康増進に取り組んでいます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や2023年の北陸新幹線小松開業を見据え、新たな時代に相応しい名称へと変更します。今後は、これまで以上に市民や地域、各種団体との連携を図り、スポーツ・文化交流の拡大や地域づくりの推進など、小松市のまちづくりに貢献していきます。

今後、次のような役割の拡大を目指していきます

テーマ1 施設管理

- 誰もが気軽に利用して楽しめる施設運営
- 施設の空き時間を有効活用するための新たな顧客の開拓
- スポーツ、文化施設の一元管理による利便性の向上

NEW

テーマ2 スポーツ・文化振興

- 生涯スポーツ・ゆるスポーツの普及
- スポーツ合宿や文化体験ツーリズムの推進
- 指導者の確保・育成とトップアスリートをめざしジュニアから競技力向上

NEW

テーマ3 地域コミュニティ活性化

- 地域活性化への相談窓口の充実
- 大学や企業などと連携して地域活動を支援
- 生涯学習の機会・プログラムを充実